

下関市公立大学法人評価委員会による２０２３年度業務実績に関する評価結果の業務改善等への反映状況について

２０２５年５月

大項目	項目番号	評価結果（指摘事項）	反映状況
I 教育に関する目標	８－２ (アセスメントポリシーの策定と内部質保証の推進)	学修成果指標（ＥＳＬＯ）について、教員向けの説明会の実施や授業科目と学修成果指標の各項目とのひもづけは実施していたが、学生の活用実績を把握できていなかった。学修成果指標は学生が活用しなければその導入目的を達成することができないため、学生の活用実績の把握に努めること。	学修成果可視化システムの学生の活用実績（ログイン率）を把握した。〔２０２４年度：２１．２％〕 利用率向上のため、２０２５年度から新入生オリエンテーションでＥＳＬＯ及び学修成果可視化システムについて周知する。